

## 目 次

(1) 学生の確保の見通し及び申請者としての取組状況	
①学生の確保の見通し.....	2
ア 定員充足の見込み.....	2
イ 定員充足の根拠となる客観的データの概要.....	4
ウ 学生納付金設定の考え方.....	5
②学生確保に向けた具体的な取組状況.....	5
【1】学生募集の概要.....	5
【2】具体的な主な取組.....	5
(2) 人材需要の動向等社会の要請	
1：人材の養成に関する目的その他の教育研究上の目的(概要).....	6
2：前述1が社会的、地域的な人材需要の動向等を踏まえたものであることの客観的な根拠.....	7

## (1) 学生の確保の見通し及び申請者としての取組状況

### ①学生の確保の見通し

本学のルーツは、明治の教育黎明期にあって女子の就学率向上のために導入された裁縫の教科を教えることのできる人材育成を目指した女子教育機関（和洋裁縫伝習所）で、婦女子の嗜みとしての裁縫を伝授するというよりは、全国の女子教育を担う女子裁縫教員の養成が目標であった。「時代の要請に応え、民衆の必要を基盤とし、女性の＜自主自律＞を願い、新しい時代に即応した学問技芸に秀でた师表となる有能な女性を育成する」ことを教育理念とした。病気や戦争で夫を亡くすことがあっても路頭に迷うことが無いように、裁縫を教授することによって身を立てることのできる女性を全国に多く育てた。

今日では、4学部12学科（家政学部：6学科、人文学部：3学科、健康科学部：2学科、子ども学部：1学科）を擁する女子総合大学として、多くの有為な人材を社会に送り出している。また、人に教えることの重要性を尊重し、裁縫のみならず多くの教養科目も開設し智徳の優れた女性の育成に努めたことにより、卒業生が設立した学校法人が今も全国に30余存在し、幼稚園・保育園から大学まで100の学校を数えている。

平成30年からは「ひとの生（Life）を支える学の構築」をテーマに、教育と研究の取り組みを行っており、研究成果を家庭や地域、社会で生かせるように「家政大メソッド」として提示することを目指している。本学には、人の生命、生活、人生に関わる様々な学びの学科があり、学生たちの希望を叶える教育環境が揃っている。その結果、学生募集においても就職や国家試験合格率においても良好な実績を上げている。令和3年には創立140周年を迎えるが、長い歴史と伝統に頼ることなく、常に先進的な学問・研究等に取り組むことで、地域や社会、そして受験生のニーズにも応えている。

今回の改組では入学定員の変更はなく、栄養学科の二つの専攻を学科とするとともに栄養学部として家政学部からの分離・独立という学部・学科の枠組みの変更となっている。その為、従来の二つの専攻の定員がそのまま引き継がれることになり、定員確保の見通しは十分にある。

## 【ア】 定員充足の見込み

### (1) 安定した入試状況

本学栄養学科の入学定員は280名であり、内訳は栄養学専攻120名、管理栄養士専攻160名となっている。現在の栄養学科の栄養学専攻、管理栄養士専攻は過去5年間をみても志願者・倍率ともに十分な数値であり、入学者・定員超過率のいずれも良好な状況にあり、定員確保には十分な数値で推移している【資料1】。

また、栄養学専攻においては総合型選抜（旧A0入試）を5年前から実施しているが、いずれの年もエントリー数は好調である。本年度（2021年度）はコロナ禍の影響があり、エントリー数が大きく減少している学科がある中で栄養学専攻は安定した数字を維持している【資料2】。

一般選抜・センター試験利用テストでも、過去5年間を通じて安定した志願者数を集め、高い倍率を維持しており、入口での選抜性の高さが管理栄養士国家試験の高い合格率にも好影響を与えていると考える【資料3】。

## (2) 認知度・志願度の高さ

2020年度「志願したい大学ランキング」(リクルート進学総研調査)において、高校生(女子)を対象としたランキングでは、共学大学も含めた関東エリア全体で17位であり、女子大学としては1位となっていることから高校生(女子)における本学への認知度・志願度が非常に高いことが分かる【資料4】。

この志願度の高さは、オープンキャンパスへの参加状況からも十分に認識することができる。『大学ランキング2020(朝日新聞出版)』での「オープンキャンパス参加状況」の項目において、本学は全国で第31位、女子大学では第1位の参加者数となっている。また、参加者の倍率(入学定員を基準)においても12.78倍で全国29位にランクインしている【資料5】。

【資料1】、【資料2】、【資料3】で示した栄養学科両専攻の安定した志願状況にも、こうした本学への志願度の高さが顕著に表れていると思われる。

## (3) 18歳人口の減少率が低く、進学率が全国でも高い地域

本学栄養学科が設置されている板橋キャンパスが位置する東京周辺(南関東)は2019年から2030年までの18歳人口は、2019年を100とすると2030年で93.9と全国的に見て非常に低い減少率となっている【資料6】。

さらに、この地域(南関東)の大学進学率は57.4%と最も高く【資7】、中でもキャンパスがある東京は62.6%と全国1位となっている【資料8】。

## (4) 交通至便で広範囲な通学圏

栄養学科が設置されている板橋キャンパスはJR埼京線で都心の池袋駅から5分の十条駅が最寄りの駅であり、その十条駅からも徒歩5分の近距離にある。さらに、JR京浜東北線の東十条駅からも徒歩13分、都営地下鉄の新板橋駅からも徒歩12分と極めて交通至便な場所に位置している。さらに、湘南新宿ラインが埼京線に乗り入れており、横浜方面からの通学も十分に可能である。

この様に複数の鉄道路線がキャンパス周辺の駅に乗り入れており、東京都内だけでなく、埼玉県や神奈川県を含む広範囲な通学圏を有しており、学生確保において非常に優位性があると考えられる。

## (5) 就職率の高さ

本学は就職率において全国的に非常に高く、卒業者数1000名以上の大学において全国で14位にランクインし、女子大学の中では第2位となっている【資料9】。栄養学科の就職率をみても非常に高く、安定している(過去5年間の平均就職率は95.6)【資料10】。

## (6) 管理栄養士国家試験の高い合格率

また、当該学科の管理栄養士専攻の管理栄養士国家試験の合格率(過去5年)は常に高く、全国平均を大きく上回っている【資料3】。

上記の事由から、本学栄養学科の栄養学専攻と管理栄養専攻はともに今後も学生募集における優位性を有し、安定した定員確保を見込むことができると思われる。今回の改組により、栄養学専攻

と管理栄養士専攻の両専攻がそれぞれ学科となった場合でも定員数は現状通りであるため、定員充足の見通しは十分にたっていると考える。

## 【イ】 定員充足の根拠となる客観的なデータの概要

定員充足の根拠となる客観的なデータの概要は以下の通りである。

資料 1：栄養学科（栄養学専攻・管理栄養士専攻）の入試状況（5年間）

○2016 ～ 2020 入試種別ごと志願者、合格者、倍率等推移

資料 2：渡邊辰五郎（自主自律）入試のエントリー状況（5年間）

○2017 ～ 2021 学科・専攻ごとのエントリー数推移

資料 3：管理栄養士国家試験合格率（5年間）

○受験者数、合格者数、合格率推移および全国平均との対比

資料 4：『志願したい大学』ランキング

○2020年リクルート進学総研調査より引用

資料 5：オープンキャンパス参加状況

○『大学ランキング 2020（朝日新聞出版）』オープンキャンパス参加状況および参加者倍率の項目より引用

資料 6：18歳人口予測（女子：エリア別：2019～2030年）

○リクルート進学総研マーケットレポートVOL.70（2019年11月号）より引用

・学校基本調査を基にエリアごとの18歳人口の推移（12年間）を比較対照している。

資料 7：大学進学率の推移（現役：エリア別：2009～2018年）

○リクルート進学総研マーケットレポートVOL.70（2019年11月号）より引用

・学校基本調査を基にエリアごとの進学率（10年間）を比較対照している。

資料 8：大学進学率（現役：都道府県別：2018年）

○リクルート進学総研マーケットレポートVOL.70（2019年11月号）より引用

・学校基本調査を基に都道府県ごとの大学進学率を比較対照している。

資料 9：2020年実就職ランキング《卒業生数1000人以上》

○大学通信 ONLINE（<https://univ-online.com/article/career/13907/2/>）より引用

・就職者数÷〔卒業（修了）者数－大学院進学者数〕×100で算出した実就職率。

資料 10：栄養学科：過去5年就職率

○平成27年度から令和元年度までの5年間の就職率

・就職率＝就職決定者／（卒業生数－大学院進学者数）で算出している。

## 【ウ】 学生納付金の設定の考え方

教育の質を担保するためには、適切な学生納付金の設定が必要である。他大学の学生納付金の状況や学内の他学部他学科の学生納入金を参考に、地域性を考慮しながら決定している。学部改組した場合においても、学科ごとの収支状況を鑑み、現状通りの学納金で設定している。

## ②学生確保に向けた具体的な取組状況

### 【1】 学生募集の概要

現在、栄養学科の学生募集については、アドミッションセンター(所長:家政学部教授、副所長:人文学部教授、事務職員8名)が、栄養学科(栄養学専攻・管理栄養士専攻)の教員および事務局全部署の職員の協力を得て、全学的に広報活動を実施している。

具体的には、「高校及び高校教諭等との信頼関係構築」、「キャリアガイダンス・カウンセリング型広報」という本学の広報の柱を重視し、媒体広報、高校進路指導部対象の大学内入試説明会、オープンキャンパス、高校内相談会や出張授業等を積極的に行っている。こうした学生募集活動もあって、高校3年生を対象とした「進学ブランド力調査2020」(リクルート総研)において、関東エリアの「志願したい大学」の項目で女子大学1位にもなっている。

さらに、企業との共同レシピ開発や大学周辺の店舗への商品開発等、学外との様々な連携も積極的に行っており、栄養士や管理栄養士を目指す高校生にとって、興味・関心を喚起させる恵まれた環境が整っている。

また、国家資格である管理栄養士試験では、毎年合格者数においても合格率においても全国的にトップクラスの実績を持ち、栄養士実力認定試験においても毎年優秀な成績を収めており、これらの活動や実績を受験生へ伝えることで、本学への志望度を高める広報を行っていく。

### 【2】 具体的な主な取組

#### (1) 広報について

前述の通り本学の広報の柱は「高校及び高校教諭等との信頼関係構築」、「キャリアガイダンス・カウンセリング型広報」であり、この方針に変更はなく、広告等も従来の媒体に改組内容を必ず告知する。

さらに、受験生や高校教員対象のイベントにおいても改組の案内と説明を直接行っていく。高校進路指導教員を対象とした説明会や受験生へのオープンキャンパスを例年実施しているが、その際に今回の改組の内容を重点的に告知・説明する予定である。

令和3年度の高校教員対象説明会および受験生を対象としたオープンキャンパスおよび体験入学の開催日は下記の通りとなっている。

#### 【教員対象説明会】

令和3年5月28日(金)、5月29日(土)

#### 【オープンキャンパス(板橋校舎)】

令和3年6月13日(日)、7月11日(日)、8月22日(日)、10月3日(日)、12月5日(日)、

【オープンキャンパス(狭山校舎)】

令和3年6月6日(日)、7月10日(土)、8月1日(日)、10月2日(土)

【体験入学(板橋校舎)】

令和4年3月23日(水)

【体験入学(狭山校舎)】

令和4年3月22日(火)

\* 体験入学：各学科の教員が大学の授業と同じ授業時間で学科ごとの授業を行い、それを受講・体験することで、学科で学ぶ内容を具体的に理解し、高校生の進路選択の参考になることを目的としたイベントである。学科の内容をより理解することで入学後のミスマッチを防ぐ目的も有するものである。

上記の通り、教員対象説明会を2回、オープンキャンパスを両キャンパスで計9回と体験入学を2回実施する。

## (2) 広報を実施する予算措置について

令和3年度において学生募集用の広告等費用として127,523,000円が予算化されており、今回の改組に関する告知広報も従来の広報媒体を利用して実施するとともに改組用の告知広告も検討・実施したいと考える。大学案内パンフレットへの改組告知ページも新たに掲載し、確実に受験生へ改組内容を伝えていく。

上記(1)の高校教員対象説明会やオープンキャンパスでの対面告知とマス媒体とを併せて広報することで、志願者増を図ることで十分な定員確保を目指していく。

## (2) 人材需要の動向等社会の要請

### 1. 人材の養成に関する目的その他の教育研究上の目的(概要)

本学はこれまで50年余にわたり、家政学部栄養学科および短大栄養科において学校や医療施設等を中心に様々な団体、企業あるいは地域が求める栄養士および管理栄養士を輩出し、社会貢献を続けてきた。

近年の少子高齢化という社会構造的課題を抱え、複雑化する社会において、従来の家庭内での食事を中心とした食生活から外食や中食といわれる新たな食事の形態が広がっている。さらに、欧米だけでなく、アジア・アフリカなど世界中の国や地域の食材や食文化が日本社会に広く浸透し、「食」の多様化・グローバル化も進展している。こうした「食」をめぐる状況は、消費者に選択肢を与えるだけでなく、一方では誤った情報による健康被害等も危惧されるところである。

こうした状況からも、「食」と「健康」に関する正しい知識と情報を持った、より高度な能力の栄養士や管理栄養士の必要性は益々高まってきている。

そこで、東京家政大学では従来の栄養学科に設置されている栄養学専攻と管理栄養士専攻をそれぞれ学科として独立させることで、今まで以上に栄養士あるいは管理栄養士への確かな志望を持った学生を募集し、意欲ある学生に対し、より専門的な知識や最新の情報を取り入れた教育を実践することで、現代の多様な「食」に対応可能な高度な教育を目指していく。

そして、「食」を取り巻く様々な状況を踏まえ、今後の「超高齢社会」、「食の多様化」、「予防医学」等々、今後の日本社会が取り組むべき諸課題に対応できる高度な知識と技術をもった実践的な栄養士および管理栄養士を養成していく。

## 2. 前述1が社会的、地域的な人材需要の動向等を踏まえたものであることの客観的な根拠

総務省の最新データによると日本の高齢者率は28.7%で世界一であり（2020年9月15日推計）、今後は生産年齢人口が減少する一方で高齢者人口（特に75歳以上の後期高齢者）が増加する人口構造が続くと推測されている。【資料11】の通り、特に東京・神奈川・埼玉・千葉の一都三県では高齢者の人口増が極めて大きい。こうした社会構造の変化の中で社会保険方式により運営される医療・介護保険は、その制度の持続可能性が危ぶまれている。

そこで、疾病予防や介護予防における栄養管理の重要性が大きくクローズアップされている。高齢者に対する栄養管理は中高年の慢性病（糖尿病や腎臓病）への栄養指導・管理の対応とともに医療面での需要が高まっている。さらに、近年では在宅高齢者における栄養管理は、フレイル（加齢による心身の機能低下）や低栄養状態に陥らせないために非常に有効な対策として位置付けられ、平成27年4月の介護保険法改正のもとで「新しい総合事業」の柱の一つとして大きな期待をかけられている。社会保険制度を維持するための医療費抑制という財政面、あるいは予防医学の面からも、高齢者を対象としたチーム医療や地域包括ケアの重要な役割を担う一員として栄養士や管理栄養士への需要は高まっている。

さらに、文部科学省が全国の学校（小・中・高）を対象とした全国実態調査（2013）によると食物アレルギーなどの特別な配慮が必要な子どもの数が前回調査（2004）の33万人から45万4千人へと大幅に増えており、「アナフィラキシーショック」により死亡したケースも発生している。これらは、食物アレルギーに関する知識・情報を含む「食育」が不十分であることの証左であり、将来的に家庭、学校や職場における「食育」の普及・浸透が不可欠であることを物語っている。「食育」を生命に関わる重要な教育として位置付けるとともに、生涯にわたって必要な教育であることを広く社会に伝える必要がある。

すでに、2005年に制定された「食育基本法」（2015年改訂）を前提として農林水産省や文部科学省、厚生労働省等が連携しながら「食育推進基本計画」等に沿って様々な食育活動が行われている。例えば、「保育所における食育に関する指針」では保育の一環として「食育」にも力を入れる傾向にある。

しかし、まだまだ「食育」は十分に普及しているとは言い難い。今後も市民の健康を守り、さらには増進させるために「食育」は家庭、学校や職場、そして地域全体においても普及させるべき教育であり、それを担うべき栄養士・管理栄養士の需要は、今後益々高まっていくと思われる。

東京家政大学では、今回の改組により栄養学科を学部にすることで、栄養士や管理栄養士を目指す受験生への訴求力を高められると考える。本学では、意欲のある学生に対し、専門的な知識だけでなく社会的役割や使命感を培う教育により、子どもから高齢者まで市民一人ひとりに対する生涯教育としての

「食育」を広く指導・普及させる栄養学の専門家として、さらには介護予防や臨床栄養学など医療面での実践的な栄養学の専門家としての栄養士や管理栄養士を養成していく。

## 資 料 目 次

資料 1	栄養学科（栄養学専攻・管理栄養士専攻）の入試状況（5年間）	P.2
資料 2	渡邊辰五郎（自主自律）入試のエントリー状況（5年間）	P.3
資料 3	管理栄養士国家試験合格率（5年間）	P.4
資料 4	『志願したい大学』ランキング	P.5
資料 5	オープンキャンパス参加状況	P.6
資料 6	18歳人口予測（女子：エリア別：2019～2030年）	P.7
資料 7	大学進学率の推移（現役：エリア別：2009～2018年）	P.8
資料 8	大学進学率（現役：都道府県別：2018年）	P.9
資料 9	2020年実就職ランキング《卒業者数1000人以上》	P.10
資料 10	栄養学科：過去5年就職率	P.11
資料 11	高齢者の増加数	P.12

【資料1】 栄養学科（栄養学専攻・管理栄養士専攻）の入試状況（5年間）

学科・専攻	定員	入試年度	入試年度	入試種類	志願者	合格者	倍率	手続者	合計	超過率
栄養学専攻	120	2016	H28	一般・センター	953	178	5.4	76	133	111%
				推薦	82	55	1.5	55		
				特別入試	3	3	1.0	2		
		2017	H29	AO	2	2	1.0	2	136	113%
				一般・センター	846	179	4.7	82		
				推薦	76	51	1.5	51		
		2018	H30	AO	2	2	1.0	2	124	103%
				一般・センター	917	241	3.8	77		
				推薦	55	45	1.2	45		
		2019	H31	AO	2	2	1.0	2	123	103%
				一般・センター	904	207	4.4	69		
				推薦	64	50	1.3	50		
		2020	H32	AO	3	3	1.0	3	136	113%
				一般・センター	745	226	3.3	70		
				推薦	80	62	1.3	62		
				特別入試	1	1	1.0	1		

学科・専攻	定員	入試年度	入試年度	入試種類	志願者	合格者	倍率	手続者	合計	超過率
管理栄養士専攻	160	2016	H28	一般・センター	1612	218	7.4	107	173	108%
				推薦	135	64	2.1	64		
				特別入試	3	3	1.0	2		
		2017	H29	一般・センター	1671	225	7.4	115	175	109%
				推薦	129	60	2.2	60		
				特別入試	2	0	-			
		2018	H30	一般・センター	1554	241	6.4	123	188	118%
				推薦	123	62	2.0	62		
				特別入試	6	3	2.0	3		
		2019	H31	一般・センター	1335	239	5.6	104	166	104%
				推薦	106	60	1.8	60		
				特別入試	2	2	1.0	2		
		2020	H32	一般・センター	1242	253	4.9	111	176	104%
				推薦	118	64	1.8	64		
				特別入試	1	1	1.0	1		

【資料2】 渡邊辰五郎（自主自律）入試のエントリー状況（5年間）

学科 区分		児 童	育 児 支 援	児 童 教 育	栄 養	服 飾 美 術	環 境 教 育	英 語 コ ミュ ニ ケー ション	心 理 カ ウン セ リング	教 育 福 祉	看 護	作 業	理 学	子 ど も 支 援	保 育	栄 養	計
エントリー数／合格者数／入学者数	2017	16	8	3	8	6	0	0	12	1	4	—	—	3	8	2	71
		2	2	2	2	3	0	0	3	1	2	—	—	2	4	2	25
		2	2	2	2	3	0	0	3	1	2	—	—	2	4	2	25
	2018	4	16	3	7	2	5	3	7	2	7	—	—	4	13	0	73
		2	3	2	2	3	2	2	1	2	2	—	—	4	7	0	32
		2	3	2	2	3	2	2	1	2	2	—	—	4	7	0	32
	2019	21	12	7	10	10	2	13	23	9	3	3	5	15	20	6	159
		3	3	6	2	5	2	4	2	4	2	3	5	8	10	6	65
		3	3	6	2	5	2	4	2	4	1	3	5	8	10	6	64
	2020	19	15	27	15	22	3	7	31	13	19	9	8	25	17	5	235
		3	4	7	3	5	3	4	2	2	4	9	8	11	17	5	87
		3	4	7	3	5	3	4	2	2	4	8	8	11	17	5	86
	2021	12	17	11	12	11	3	6	20	7	6	5	5	25	23	9	172
		6	6	7	4	5	2	5	4	4	4	5	5	15	19	7	98
		6	6	7	4	5	2	5	4	4	4	5	5	15	19	7	98

※渡邊辰五郎（自主自律）入試は2017年度入試より実施（管理栄養士専攻は未実施）

※本年度（2021）の入学者数は入学手続き完了者数

【資料3】管理栄養士国家試験合格率（5年間）

	実施年	受験者	合格者	合格率	全国平均
第30回	平成28年	165名	162名	98.2%	44.7%
第31回	平成29年	175名	172名	98.3%	54.6%
第32回	平成30年	176名	174名	98.9%	60.8%
第33回	平成31年	174名	172名	98.9%	60.4%
第34回	令和2年	171名	166名	97.1%	61.9%

【資料 4】

①書類等の題名

「リクルート進学総研調査（2020） 志願したい大学ランキング」

②出典

株式会社リクルートマーケティングパートナーズ

<http://souken.shingakunet.com/research/2020brand1.pdf>

③引用範囲

3 ページ「関東『志願したい大学』 ランキング」をもとに本学で並び順を加工

【資料 5】

①書類等の題名

「2020 大学ランキング」

②出典

朝日新聞出版（AERA MOOK）

③引用範囲

「オープンキャンパス参加状況」（363 ページ）

**【資料 6】**

①書類等の題名

「リクルート進学総研マーケットレポート vol.70 2019 年 11 月」

②出典

株式会社リクルートマーケティングパートナーズ

[http://souken.shingakunet.com/research/201911\\_souken\\_report.pdf](http://souken.shingakunet.com/research/201911_souken_report.pdf)

③引用範囲

「18 歳人口予測（女子：エリア別：2018～2030 年）」（8 ページ）

【資料 7】

①書類等の題名

「リクルート進学総研マーケットレポート vol.70 2019 年 11 月」

②出典

株式会社リクルートマーケティングパートナーズ

[http://souken.shingakunet.com/research/201911\\_souken\\_report.pdf](http://souken.shingakunet.com/research/201911_souken_report.pdf)

③引用範囲

「大学進学率の推移（現役：エリア別：2009～2018 年）」（9 ページ）

**【資料 8】**

①書類等の題名

「リクルート進学総研マーケットレポート vol.70 2019 年 11 月」

②出典

株式会社リクルートマーケティングパートナーズ

[http://souken.shingakunet.com/research/201911\\_souken\\_report.pdf](http://souken.shingakunet.com/research/201911_souken_report.pdf)

③引用範囲

「大学進学率（現役：都道府県別：2018 年）（12 ページ）」

【資料 9】

①書類等の題名

「大学通信 ONLINE 2020.08.03 2020 年最新実就職率ランキング」

②出典

大学通信

<https://univ-online.com/article/career/13907/2/>

③引用範囲

「2020年最新実就職率ランキング」をもとに本学で並び順を加工

【資料10】栄養学科：過去5年就職率

	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	平均
就職率 (%)	95.2	95.7	95.5	97.3	94.5	95.6

※就職率＝就職決定者／（卒業者数－大学院進学者数）

学生支援センターキャリア支援課資料より引用

【資料 11】

①書類等の題名

「JFS ニュースレター No.187 (2018 年 3 月号)」

②出典

ジャパン・フォー・サステナビリティ (JFS)

[https://www.japanfs.org/sp/ja/news/archives/news\\_id036043.html](https://www.japanfs.org/sp/ja/news/archives/news_id036043.html)

③引用範囲

「首都圏の高齢化問題：見かけ以上に増える高齢者数」図 3 「高齢者の増加数」